

【様式例 13】

設立後 2 年間の予算書

(収入予算額総括表)		(単位：千円)	
科 目	初 年 度	次 年 度	
医 業 収 入	119,520	131,112	
入 院 収 入			
外 来 収 入	119,520	131,112	
そ の 他			
医 業 外 収 入	10	15	
借 入 金			
拠 出 金 等	10,358		
前 年 度 繰 越 金	0	28,755	
合 計	129,888	159,882	

(支出予算額総括表)		(単位：千円)	
科 目	初 年 度(12か月)	次 年 度	
医 業 費 用	91,228	92,728	
医 業 外 費 用	0		
施 設 整 備 費			
施 設 整 備 費			
医 療 機 器 購 入 費			
借 入 金 (元 金) 返 済			
法人税等 (租 税 公 課)	9,905	13,650	
翌 年 度 繰 越 金	28,755	53,504	
合 計	129,888	159,882	

(運転資金)		(単位：千円)	
必 要 額	準 備 額	内 訳	
15,204	16,755	拠出金等	10,358
		窓口収入	6,396

(作成上の注意)

- 1 不要な科目は削除しても差し支えないこと。
- 2 事業計画(様式例 12)の内容と一致すること。
- 3 1,000円未満は、四捨五入しても差し支えないこと。
- 4 「拠出金等」は、財産目録(様式例 2)のうち「現金」、「預金」及び「医業未収金」を合算したものであること。
- 5 法人税等(租税公課)は、発生主義に則って記載すること。
よって、実際の納税は翌年度になる場合であっても、税金相当額は初年度に計上すること。
- 6 運転資金「準備額」は、「必要額」と同額かそれ以上であること。
- 7 運転資金「必要額」の求め方
必要額＝初年度支出(医業費用＋医業外費用＋借入金(元金)返済)の2か月分
- 8 運転資金「準備額」の求め方
準備額＝拠出金(現金)＋現物拠出財産(預金＋医業未収金)＋窓口収入の2か月分
- 9 運転資金の「窓口収入」の求め方
窓口収入＝初年度支出(自費収入＋社会保険等収入のうち現金収入分)の2か月分